

Jr. リーグ注目選手!

前期 Jr. リーグを駒大は3位で折り返した。去年前期・後期の最優秀選手の高崎、前期ベスト GK 賞の三栗、後期ベスト GK 賞の山内と去年 Jr. リーグで活躍した選手たちが今年のリーグ戦で躍動している。今回は Jr. リーグで活躍した伸び盛りの注目の選手をピックアップ!

鳥羽田は駒大のエースになる要素である空中戦、フィジカルの強さを兼ね備えている。前線にターゲットマンを要する駒大のサッカーにおいて、高さ、強さを備えている鳥羽田は重宝される選手である。鳥羽田は Jr. リーグ開幕戦の試合後、この活躍に浮かれることなく「これからは自分の質を上げることが目標です」と話していた。前期リーグ戦2試合に出場を果たしたものの、結果を残すことができなかった鳥羽田だったが、自分のやるべきことを理解し、それに向かい突き進んでいることがその言葉を通じて伺えた。



Jr. リーグ開幕戦、次世代のエースがボールを脱いだ。鳥羽田は前半から空中戦、フィジカルの強さで相手DFを圧倒する。後半に入ると、49、50、51分と得点を重ねハットトリックを達成。さらにクロスに反応し、この日4点目。4得点という衝撃的なデビューを飾った。



FW 鳥羽田龍

水戸商業高校出身。1年。
180cm、78kg。

駒大は数々の大型ストライカーを生み出してきた。日本代表の巻誠一郎、今シーズンFC東京入りした赤嶺真吾、現在の駒大のエースである巻佑樹。鳥羽田もこの偉大な先輩たちに肩を並べる可能性を秘めている。この偉大な先輩に肩を並べるには今持っている能力をさらに磨く必要があるだろう。駒大に在学する4年間でどれだけ成長するのか。これからの成長に期待がかかる。

前期 Jr. リーグで平岩はスタメンの座を不動のものとした。172cmと決して恵まれた体格ではないものの打点の高いヘディングで相手の前にそびえ立ち、アプレッシブな守備で相手の攻撃を蹂躪していく。セットプレーとなればゴール前に現れ、豪快なヘッドをネットに突き刺す。攻守においてかかせない選手へと成長している。ヘディングの強さと守備力の高さでトップでの出場を狙う。



MF 平岩 宗

中京大中京高校出身。
2年。172cm、63kg。

Jr. リーグで一番多くゴールマウスを守っている GK。今期、リーグ戦では GK のポジションを三栗、山内が争っており、矢田は第3の GK に甘んじている。だが今期、三栗の怪我によりトップの試合で初のベンチ入りを果たした。出場こそならなかったもののこのことは矢田に自信を植えつけたに違いはない。今は Jr. リーグという舞台で己を磨き、チャンスが訪れる時を静かに待っている。



GK 矢田雄基

三重海星高校出身。
2年。181cm、70kg。

左 SB、SH をこなす左サイドのスペシャリスト。Jr. リーグでは左サイドを突破し、左足のキックでゴールを演出している。試合中は気持ちを前面に押し出すプレーでチームの士気を高めている。Jr. 今期初めてトップに登録され、Jr. リーグで結果を残し、虎視眈々とトップの試合での出場を狙っている。



MF 鳥井勇作

成立学園高校出身。
3年。171cm、70kg。



MF 加藤正樹

青森山田高校出身。
3年。165cm、58kg。

小柄だがスピードと左足のキック精度で勝負するサイドアタッカー。今期はトップに追加登録され、トップでの試合出場に向けて Jr. リーグでアピールしている。その左足から繰り出す正確無比のクロスで幾度となくゴールを演出し、CK でも自身の武器を遺憾なく発揮。Jr. リーグ専大戦での CK からのアシストは圧巻だった。